

地域の方々を支えられて！

現在、市立各幼稚園では、地域の方々の支援を得て、各園の特色を生かした様々な体験を通し、子どもたちの豊かな感性をはぐくみ、人とかわる基盤を育てるよう努めています。

舞浜・見明川の両幼稚園は、弁天ふれあいの森公園で、地域の方々と一緒に田植えや稲刈りの体験をしています。

「お箸を持つほうの手で鎌を持って、反対の手は親指を下にして」と実際に鎌を手に、持ち方や稲の刈り方、そして足の位置まで、丁寧に関わりやすく教えていただきました。「たのしみ」「ぐにゅぐにゅする」と、子どもたちは裸足で田んぼの中に入り体全体、五感のすべてで稲刈りを楽しみました。

刈った稲を地域の方と一緒に束ねたり、芝生に落ちている稲も丁寧に拾ったりする姿から、収穫物を大切にしている様子が見え、うれしかったです。



地域の方に手を添えてもらい、教えていただいたように、お箸を持つ手で鎌を持ち反対の手は親指を下にして稲を持ち、「ザクザクッ」初めて持つ鎌に真剣な顔。



「しっかり結んで、落ちないようにしようね」縛ってもらった稲穂は、干し台にかけて乾燥させます。子どもたちは、収穫した古代米を前にうれしそう！

また、入船南幼稚園では、地域の方々が手作り紙芝居で読み聞かせをしてくださったり、四季折々の花や実など自然物の贈り物を子どもたちのために届けてくださったりしています。

このように、地域の方々が様々な場で保育活動に参加してくださり、交流を通して子どもたちは、地域の一員としての心情をはぐくんできます。

また、地域の方々に支えられながら、市立各幼稚園が子どもたちの心を揺り動かすような豊かな体験を工夫していくことが、地域の方々に、幼児教育を理解していただく場にもなっています。

幸せの笑顔と感動の涙！

はっぴい・はっぴようかい

11月17日(土)に、浦安市文化会館小ホールにおいて、第27回浦安市小・中学校特別支援学級合同学習発表会、通称「はっぴい・はっぴようかい」が開催されました。今年度は、新設された日の出南小学校を加えた小学校9校、中学校6校の140名の子どもたちが、笑顔いっぱい発表しました。あいにくの雨の中ではありませんでしたが、のべ1000名を超え

る方々に参観していただきました。各校の発表では、観客席も幸せの笑顔と感動の涙で埋め尽くされ、大きな拍手や歓声が子どもたちを包むなど、笑顔と感動があふれる時間となりました。



〈参加者の感想より一部抜粋〉

- ①初めてはっぴい・はっぴようかいを見させていただきました。とても楽しく、すてきな時間を過ごしました。知っている顔がいろいろな学校におられ、皆楽しく一生懸命歌ったり、踊ったり、劇をしている姿を見て、いっぱいエネルギーをもらいました。ありがとうございました。
- ②各校ともそれぞれ工夫をこらして、子どもたちの個性を生かしていたと思います。今日に向けて子どもたちは一生懸命毎日練習したことでしょう。子どもの努力はもちろんのこと、支えている先生方や保護者の方々も大変な思いがあったと思います。毎年楽しみにしています。頑張っている子どもたちの姿にいつも感動させられます。ありがとうございました。

今後も本市では特別支援教育の推進に努めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

教育情報誌 うらやすスタイル

浦安市教育委員会では、「子どもたちにとってのふるさとづくり、大人にとってのまちづくり」を提唱し、学校・保護者・地域・行政が教育の問題をみんなで考え、実践していくまち・浦安を目指しています。

核家族化や少子化による家庭教育の多様化、地域のつながりの希薄

化、それらとともに学校教育の変化が進んでいます。しかし、時代や社会の変化を議論するだけでは何も始まりません。

しっかりと現実を受け止め、教育への高い志をもって行動を起こす、私たちは浦安をそんなまちにしたいと考えています。

発行/浦安市教育委員会 浦安市猫美1-1-1 TEL:047-351-1111 企画・編集/教育政策課・指導課・生涯学習課

※「うらやすスタイル」は浦安市のHPからもご覧いただけます ▶ <http://www.city.urayasu.chiba.jp/menu11144.html>

